

令和元年度柏市地域包括支援センター評価指標

【評価方法】 ※1. 組織・運営体制等については2または1のみ選択可

3：積極的な取り組みを実施し、具体的な成果・効果があった

2：はい、または、仕様どおり実施できた（標準）

1：いいえ、または、仕様に及ばない実施状況であった

1. 組織・運営体制等

(1) 組織・運営体制

No	市町村の評価指標 (全国統一の指標)	地域包括支援センターの評価指標 (★は全国統一の指標 ☆は市の独自指標)
1	運営協議会での議論を経て、センターの運営方針を策定し、センターへ伝達しているか。	★ 市町村が定める運営方針の内容に沿って、センターの事業計画を策定しているか。
		☆ ①センター職員が事業計画作成に参画し、センター内で共通理解を図っている。 ②事業計画の進捗確認を計画的に行っている。
2	年度ごとのセンターの事業計画の策定に当たり、センターと協議を行っているか。	★ 事業計画の策定に当たって、市町村と協議し、市町村から受けた指摘がある場合、これを反映しているか。
3	前年度における運営協議会での議論を踏まえ、センターの運営方針、センターへの支援、指導の内容を改善したか。	★ 市町村の支援・指導の内容により、逐次、センターの業務改善が図られているか。
4	市町村とセンターの間の連絡会合を、定期的に開催しているか。	★ 市町村が設置する定期的な連絡会合に、毎回、出席しているか。
5	センターに対して、担当圏域の現状やニーズの把握に必要な情報を提供しているか。	★ 市町村から、担当圏域の現状やニーズの把握に必要な情報の提供を受けているか。 ①担当圏域の高齢者人口 ②担当圏域の高齢者のみの世帯数 ③介護予防・日常生活圏域ニーズ調査等の各種住民アンケート結果 ④要介護等認定者数やサービス利用状況等の介護保険に係る情報 ⑤民生委員や地域のサロン運営者等地域の関係団体情報 ⑥地域の社会資源に関する情報 ⑦その他ニーズ把握に必要な情報
6	市町村指標なし	★ 把握した担当圏域の現状やニーズに基づき、センターの取組における重点項目を設定しているか。
		☆ 重点事業を明らかにするにあたり、地域特性を把握するためのデータ分析を行ない、地域ケア会議等で検討した地域課題の解決策を地域住民と共有し、計画に位置付けているか。
7	センターにおいて、3職種（それぞれの職種の準ずる者は含まない）が配置されているか。	★ 3職種（それぞれの職種の準ずる者は含まない）を配置しているか。
		☆ ①職員の配置基準を満たしている。（準ずる者を含む。）やむをえず、変更があった場合には、利用者や関係者等に配慮し適正に引き継いでいる。 ②所内ミーティング等を計画的に開催し三職種で情報共有している。
8	センター職員の資質向上の観点から、センター職員を対象とした研修計画を策定し、年度当初までにセンターに示しているか。	★ 市町村から、年度当初までに、センター職員を対象とした研修計画が示されているか。
9	市町村指標なし	★ センターに在籍する全ての職員に対して、センターまたは受託法人が、職場での仕事を離れての研修（Off-JT）を実施しているか。
		☆ ①研修（外部）への参加機会を確保している。 ②研修成果をセンター内で報告し共有する機会を設けている。 ③職場内での研修機会を確保している。
10	センターに対して、夜間・早朝の窓口（連絡先）の設置を義務付けているか。	★ 夜間・早朝の窓口（連絡先）を設置し、窓口を住民にパンフレットやホームページ等で周知しているか。
11	センターに対して、平日以外の窓口（連絡先）の設置を義務付けているか。	★ 平日以外の窓口（連絡先）を設置し、窓口を住民にパンフレットやホームページ等で周知しているか。
12	市町村の広報紙やホームページなどで、センターの周知を行っているか。	★ パンフレットの配布など、センターの周知を行っているか。

令和元年度柏市地域包括支援センター評価指標

(2) 個人情報の管理

No	市町村の評価指標 (全国統一の指標)	地域包括支援センターの評価指標 (★は全国統一の指標 ☆は市の独自指標)
13	個人情報保護に関する市町村の取扱方針をセンターに示しているか。	★ 個人情報保護に関する市町村の取扱方針に従って、センターが個人情報保護マニュアル（個人情報保護方針）を整備しているか。
14	個人情報漏えいした場合の対応など、センターが行うべき個人情報保護の対応について、センターへ指示しているか。	★ 個人情報漏えいした場合の対応など、市町村から指示のあった個人情報保護のための対応を、各職員へ周知しているか。
15	市町村指標なし	★ 個人情報の保護に関する責任者（常勤）を配置しているか。
16	市町村指標なし	★ 個人情報の持出・開示時は、管理簿への記載と確認を行っているか。

(3) 利用者満足度の向上

No	市町村の評価指標 (全国統一の指標)	地域包括支援センターの評価指標 (★は全国統一の指標 ☆は市の独自指標)
17	苦情内容の記録等、苦情対応に関する市町村の方針をセンターに示しているか。	★ 市町村の方針に沿って、苦情対応体制を整備し、苦情内容や苦情への対応策について記録しているか。
		☆ ①苦情受付の担当者・責任者を配置している。 ②苦情対応マニュアルを整備し、センター内で共有を図り、苦情の対処と再発防止に努めている。
18	センターが受けた介護サービスに関する相談について、センターから市町村に対して報告や協議を受ける仕組みを設けているか。	★ センターが受けた介護サービスに関する相談について、市町村に対して報告や協議を行う仕組みが設けられているか。
19	相談者のプライバシーが確保される環境整備に関する市町村の方針をセンターに示しているか。	★ 相談者のプライバシー確保に関する市町村の方針に沿い、プライバシーが確保される環境を整備しているか。

2. 個別業務

(1) 総合相談支援業務

No	市町村の評価指標 (全国統一の指標)	地域包括支援センターの評価指標 (★は全国統一の指標 ☆は市の独自指標)
20	市町村指標なし	★ 地域における関係機関・関係者のネットワークについて、構成員・連絡先・特性等に関する情報をマップまたはリストで管理しているか。
		☆ ①高齢者の集まる地域活動等へ参加し、情報収集を行っている。 ②社会資源マップを作成して、センター内で共有し、市民や地域関係者へ情報提供し活用されている。 ③地域の関係機関（民生委員協議会やふるさと協議会等）が開催する会議等に積極的に参加している。
21	センターと協議しつつ、センターにおいて受けた相談事例の終結条件を定めているか。	★ 相談事例の終結条件を、市町村と共有しているか。
22	センターにおける相談事例の分類方法を定めているか。	★ 相談事例の分類方法を、市町村と共有しているか。
23	1年間におけるセンターの相談件数を把握しているか。	★ 1年間の相談事例の件数を市町村に報告しているか。
24	センターからの相談事例に関する支援要請に対応したか。 ※対応例）センターだけでは対応が難しい相談事例等への支援方針の助言・指導、同行訪問、地域ケア会議への参加など	★ 相談事例の解決のために、市町村への支援を要請し、その要請に対し市町村から支援があったか。
25	センターが対応した家族介護者からの相談について、相談件数・相談内容を把握しているか。	★ 家族介護者からの相談について、相談件数や相談内容を記録等に残して取りまとめているか。
		☆ ①ワンストップ相談窓口として適切なサービス・機関を紹介できる体制を整えている。
		②相談には速やかに対応し、的確に状況を把握し、センター内で共有の上、緊急性の有無やモニタリングの要否を判断している。
		③積極的にアウトリーチを実施し、相談の場を広げている。
		④相談内容を分析し、各業務に活用している。

令和元年度柏市地域包括支援センター評価指標

(2) 権利擁護業務

No	市町村の評価指標 (全国統一の指標)	地域包括支援センターの評価指標 (★は全国統一の指標 ☆は市の独自指標)
26	成年後見制度の市町村長申し立てに関する判断基準をセンターと共有しているか。	★ 成年後見制度の市町村長申し立てに関する判断基準について、市町村から共有されているか。
		①成年後見制度についてセンター職員が理解し、説明できる。
		②高齢者の判断能力や生活状況を把握し、制度を利用する必要があるかどうかを想定して対応している。
		③成年後見の相談に適切に対応し、申し立ての支援を行っている。
27	高齢者虐待事例及び高齢者虐待を疑われる事例への対応の流れを整理し、センターと共有しているか。	★ 高齢者虐待事例及び高齢者虐待を疑われる事例への対応の流れについて、市町村と共有しているか。
		①高齢者虐待防止法についてセンター職員が理解している。
		②高齢者虐待対応マニュアルに沿って帳票を市へ速やかに提出し、市と協力して対応している。
		③チームで役割分担を行い、本人だけでなく養護者に対する相談、指導及び助言その他必要な方策をとっている。
		④虐待対応終了後に支援の評価や振り返りの機会を設けている。
		⑤虐待防止と早期発見に繋げるための啓発を実施している。
28	センターまたは市町村が開催する高齢者虐待防止に関する情報共有、議論及び報告等を行う会議において、高齢者虐待事例への対応策を検討しているか。	★ センターまたは市町村が開催する高齢者虐待防止に関する情報共有、議論及び報告等を行う会議において、高齢者虐待事例への対応策を検討しているか。
		☆ 職員が消費者被害の動向に関して理解している。
29	消費生活に関する相談窓口及び警察に対して、センターとの連携についての協力依頼を行っているか。	★ 消費者被害に関し、センターが受けた相談内容について、消費生活に関する相談窓口または警察等と連携の上、対応しているか。
		☆ 職員が消費者被害の動向に関して理解している。
30	市町村指標なし	★ 消費者被害に関する情報を、民生委員・介護支援専門員・ホームヘルパー等へ情報提供する取組を行っているか。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

No	市町村の評価指標 (全国統一の指標)	地域包括支援センターの評価指標 (★は全国統一の指標 ☆は市の独自指標)
31	日常生活圏域ごとの居宅介護支援事業所のデータ（事業所ごとの主任介護支援専門員・介護支援専門員の人数等）を把握し、センターに情報提供しているか。	★ 担当圏域における居宅介護支援事業所のデータ（事業所ごとの主任介護支援専門員・介護支援専門員の人数等）を把握しているか。
32	センターと協議の上、センターが開催する介護支援専門員を対象にした研修会・事例検討会等の開催計画を作成しているか。	★ 介護支援専門員を対象にした研修会・事例検討会等の開催計画を策定し、年度当初に、指定居宅介護支援事業所に示しているか。
33	介護支援専門員を対象に、包括的・継続的ケアマネジメントを行うための課題や支援などに関するアンケートや意見収集等を行い、センターに情報提供を行っているか。	★ 介護支援専門員に対するアンケート・意見収集等についての市町村からの情報提供や、市町村による研修会の内容等を踏まえ、地域の介護支援専門員のニーズや課題に基づく事例検討会や、個別事例を検討する地域ケア会議等を開催しているか。
34	介護支援専門員のニーズに基づいて、多様な関係機関・関係者（例：医療機関や地域における様々な社会資源など）との意見交換の場を設けているか。	★ 担当圏域の介護支援専門員のニーズに基づいて、多様な関係機関・関係者（例：医療機関や地域における様々な社会資源など）との意見交換の場を設けているか。
35	市町村指標なし	★ 介護支援専門員が円滑に業務を行うことができるよう、地域住民に対して介護予防・自立支援に関する意識の共有を図るための出前講座等を開催しているか。
36	センターが介護支援専門員から受けた相談事例の内容を整理・分類した上で、経年的に件数を把握しているか。	★ 介護支援専門員から受けた相談事例の内容を整理・分類した上で、経年的に件数を把握しているか。
		☆ ①介護支援専門員に対して個別相談による支援を行っている。 ②支援困難事例について他の職種や関係機関と連携し、介護支援専門員に指導や助言等を行っている。

令和元年度柏市地域包括支援センター評価指標

(4) 地域ケア会議

No	市町村の評価指標 (全国統一の指標)	地域包括支援センターの評価指標 (★は全国統一の指標 ☆は市の独自指標)
37	地域ケア会議が発揮すべき機能、構成員、スケジュールを盛り込んだ開催計画を策定し、センターに示しているか。	★ 地域ケア会議が発揮すべき機能、構成員、スケジュール等を盛り込んだ開催計画が市町村から示されているか。
		☆ 柏市地域ケア会議の手引きをセンター内で共有し、会議の体系や役割を理解している。
38	センター主催の地域ケア会議の運営方法や、市町村主催の地域ケア会議との連携に関する方針を策定し、センターに対して周知しているか。	★ センター主催の地域ケア会議の運営方針を、センター職員・会議参加者・地域の関係機関に対して周知しているか。
39	センター主催の個別事例について検討する地域ケア会議に参加しているか。	★ センター主催の地域ケア会議において、個別事例について検討しているか。
40	地域ケア会議において多職種と連携して、自立支援・重度化防止等に資する観点から個別事例の検討を行い、対応策を講じているか。	★ センター主催の地域ケア会議において、多職種と連携して、自立支援・重度化防止等に資する観点から個別事例の検討を行い、対応策を講じているか。
41	センターと協力し、地域ケア会議における個人情報の取扱方針を定め、センターに示すとともに、市町村が主催する地域ケア会議で対応しているか。	★ 市町村から示された地域ケア会議における個人情報の取扱方針に基づき、センターが主催する地域ケア会議で対応しているか。
42	地域ケア会議の議事録や検討事項を構成員全員が共有するための仕組みを講じているか。	★ センター主催の地域ケア会議において、議事録や検討事項をまとめ、参加者間で共有しているか。
43	地域ケア会議で検討した個別事例について、その後の変化等をモニタリングするルールや仕組みを構築し、かつ実行しているか。	★ 地域ケア会議で検討した個別事例について、その後の変化等をモニタリングしているか。
44	センター主催の地域課題に関して検討する地域ケア会議に参加しているか。	★ センター主催の地域ケア会議において、地域課題に関して検討しているか。
45	センター主催の地域ケア会議で検討された内容を把握しているか。	★ センター主催の地域ケア会議における検討事項をまとめたものを、市町村に報告しているか。

(5) 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援

No	市町村の評価指標 (全国統一の指標)	地域包括支援センターの評価指標 (★は全国統一の指標 ☆は市の独自指標)
46	自立支援・重度化防止等に資するケアマネジメントに関する市町村の基本方針を定め、センターに周知しているか。	★ 自立支援・重度化防止等に資するケアマネジメントに関し、市町村から示された基本方針を、センター職員及び委託先の居宅介護支援事業所に周知しているか。
		☆ ①要支援者及び事業対象者の個人情報が共有されることについて、十分な説明を行い、同意を得ている。 ②職員の担当件数は偏りがなく、適正な件数となっている。
47	センター、介護支援専門員、生活支援コーディネーター、協議体に対して、保険給付や介護予防・生活支援サービス事業以外の多様な地域の社会資源に関する情報を提供しているか。	★ 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援のケアプランにおいて、保険給付や介護予防・生活支援サービス事業以外の多様な地域の社会資源を位置づけたことがあるか。
		☆ 介護予防・生活支援サービスを理解し、その実施状況を把握している。 ②保険給付や介護予防・生活支援サービス事業以外の多様な地域の社会資源(居場所やささえあい活動等)を理解し、その実施状況を把握している
48	利用者のセルフマネジメントを推進するため、介護予防手帳などの支援の手法を定め、センターに示しているか。	★ 利用者のセルフマネジメントを推進するため、市町村から示された支援の手法を活用しているか。
		☆ 自立支援に向けたプラン作成及びサービス利用の提案を行っている。
49	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を委託する際の事業所選定について、公平性・中立性確保のための指針を作成し、センターに明示しているか。	★ 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を委託する際の事業所選定の公平性・中立性確保のための指針が市町村から示されているか。
		☆ 職員は介護予防ケアマネジメント・介護予防支援委託の公正性・中立性を理解している。
50	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を委託する際のセンターの関与について、市町村の指方針をセンターに対して明示しているか。	★ 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を委託した場合は、台帳への記録及び進行管理を行っているか。
		☆ ①介護予防ケアマネジメント・介護予防支援の委託進捗管理表を作って管理している。 ②委託先で適切に計画が作成されているか、内容の確認をしている。

令和元年度柏市地域包括支援センター評価指標

3. 事業間連携（社会保障充実分事業）

No	市町村の評価指標 (全国統一の指標)	地域包括支援センターの評価指標 (★は全国統一の指標 ☆は市の独自指標)
51	医療関係者とセンターの合同の事例検討会の開催または開催支援を行っているか。	★ 医療関係者と合同の事例検討会に参加しているか。
52	医療関係者とセンターの合同の講演会・勉強会等の開催または開催支援を行っているか。	★ 医療関係者と合同の講演会・勉強会等に参加しているか。
53	在宅医療・介護連携推進事業における相談窓口とセンターの連携・調整が図られるよう、連携会議の開催や情報共有の仕組みづくりなどの支援を行っているか。	★ 在宅医療・介護連携推進事業における相談窓口に対し、相談を行っているか。
54	認知症初期集中支援チームとセンターの連携・調整が図られるよう、連携会議の開催や情報共有の仕組みづくりなどの支援を行っているか。	★ 認知症初期集中支援チームと訪問支援対象者に関する情報共有を図っているか。
55	生活支援コーディネーターや協議体とセンターの連携・調整が図られるよう、連携会議の開催や情報共有の仕組みづくりなどの支援を行っているか。	★ 生活支援コーディネーター・協議体と地域における高齢者のニーズや社会資源について協議をしているか。

4. 認知症施策の推進（柏市独自項目）

(1) 認知症理解のための普及啓発

No	市町村の評価指標 (全国統一の指標)	地域包括支援センターの評価指標 (★は全国統一の指標 ☆は市の独自指標)
56	市町村指標なし	☆ ①市民や関係機関の相談対応に認知症対応ガイドブックやオレンジパス等を活用し、認知症の正しい理解のための普及啓発等を行っている。 ②世界アルツハイマーデーや地域行事やサロン等において、認知症に関する啓発活動を市や関係機関と協力して実施している。 ③認知症サポーター養成講座の周知を行い、望ましい対象者や団体（小・中学校、店舗・事業所等）に積極的に働きかけ、登録したキャラバンメイトと協力して対象者にあわせた講座内容を工夫して実施している。

(2) 認知症の人の家族への支援

No	市町村の評価指標 (全国統一の指標)	地域包括支援センターの評価指標 (★は全国統一の指標 ☆は市の独自指標)
57	市町村指標なし	☆ ①認知症の人や家族のニーズ、及び地域特性を活かして認知症介護者交流会や認知症カフェを開催し、認知症の人とその家族を支える繋がりへの支援に努めている。 ②総合相談等において、認知症に関する相談があった場合、関係者等と協力しながら認知症の本人や家族の支援を早期に対応し、早期支援に努めている。

(3) 地域の見守り

No	市町村の評価指標 (全国統一の指標)	地域包括支援センターの評価指標 (★は全国統一の指標 ☆は市の独自指標)
58	市町村指標なし	☆ ①「カシワニオレンジステッカー」事業所と「かしわオレンジSOSネットワーク」協力事業所の登録を一体的に勧めるよう努めている。 ②認知症サポーター養成講座等の啓発の機会に、「かしわオレンジネットワーク事業」メール配信サービスの登録を勧め、地域のゆるやかな見守り体制の構築に努めている。 ③かしわオレンジフレンズの登録や交流会を実施し、フォローアップや活動支援を行っている。 ④認知症の人やその家族が安心して暮らせるために地域ケア個別会議等を活用し、地域の特性に応じた見守り体制の構築に努めている。 ⑤町会等の地域関係者と連携した徘徊模擬訓練を実施することで、地域の見守り体制の構築に努めている。

(4) 早期発見・早期対応、早期診断と適切な医療・ケア

No	市町村の評価指標 (全国統一の指標)	地域包括支援センターの評価指標 (★は全国統一の指標 ☆は市の独自指標)
59	市町村指標なし	☆ 認知症の状態に応じて適切なサービスが提供されるよう医療機関、サービス事業者、介護支援専門員等の関係者と連携して支援している。

令和元年度柏市地域包括支援センター評価指標

5. 一般介護予防事業（柏市独自項目）

(1) フレイル予防事業対象者の把握・支援

No	市町村の評価指標 (全国統一の指標)	地域包括支援センターの評価指標 (★は全国統一の指標 ☆は市の独自指標)
60	市町村指標なし	<ul style="list-style-type: none"> ①個別相談等を通じて、フレイル予防が必要とされる高齢者の情報を収集し、フレイル予防の取り組みへつなげている。 ②関係機関や地域活動組織（民生委員など）等と連携し、閉じこもり高齢者の情報を収集し、社会参加を促進するなどフレイル予防の取り組みへつなげるよう努めている。 ③フレイルチェック講座終了後、特に深掘りチェック赤シール4つ以上の参加者については、関連する講座や地域のサークルへ繋ぐなど、その後のフォローアップを具体に行うよう努めている。

(2) フレイル予防の普及啓発

No	市町村の評価指標 (全国統一の指標)	地域包括支援センターの評価指標 (★は全国統一の指標 ☆は市の独自指標)
61	市町村指標なし	<ul style="list-style-type: none"> ①フレイル予防の重要性や一般的な知識、フレイル予防事業に関する情報をセンター内で共有し、全ての職員が機を見て積極的に普及啓発を行っている。 ②地域の関係機関やボランティア団体等の会合等に出席し、フレイル予防に関するちらしの配布による周知や講座等を実施している。 ③小圏域ごとに、参加者を固定することなく各担当圏域内でフレイルチェック講座を実施している。

(3) 地域のフレイル予防活動の育成支援

No	市町村の評価指標 (全国統一の指標)	地域包括支援センターの評価指標 (★は全国統一の指標 ☆は市の独自指標)
62	市町村指標なし	<ul style="list-style-type: none"> ①地域分析を行い、地域の特性に沿ったフレイル予防の取り組みについて支援をしている。 ②地域の通いの場やサロン、フレイル予防自主サークル等に講師として出向くなど信頼関係を構築し、新規参加者の受け入れ依頼が円滑に行われるよう努めている。 ③フレイル予防に関する地域活動組織の立ち上げ支援も念頭に置いている。（フレイル予防自主サークル、居場所づくり等）